愛知県環境情報紙

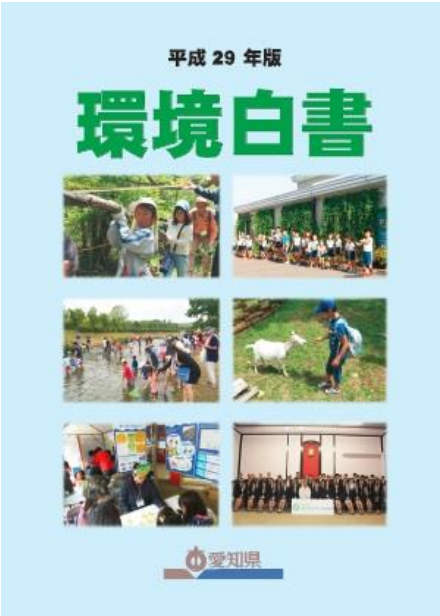
# 環境かわら版

http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html

平成３０年１月号（第２６０号）


平成２９年版環境白書を発行しました……P2

その他　環境情報が満載……P3 ～ P8


平成 29 年版環境白書を発行しました(P2)

愛知県選考作品が愛鳥週間用ポスター原画
コンクールで環境大臣賞等を受賞（P3）

かがやけ☆あいちサスティナ研究所 成果発表会 2017(P4)


エコリンクあいち
ECO LINK AICHI

エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

http://aichi-eco.com

## 平成29年版環境白書を発行しました

環境白書は、愛知県の環境の状況及び環境の保全の施策をとりまとめたもので、県環境基本条例に基づき、毎年議会へ報告しています。

昭和46年の初刊発行以来47冊目となる**「平成29年版環境白書」**は、今年の主要な事業やプロジェクトを第1部**「特集」**として巻頭で紹介し、第2部では**「平成28年度の環境の状況と施策」**を掲載しています。さらに巻末では、環境基準等の各法令に基づく基準値などを資料編として加えています。

**特集1**　循環型社会の形成に向けて
～「愛知県廃棄物処理計画」と
「あいち地域循環圏形成プラン」～

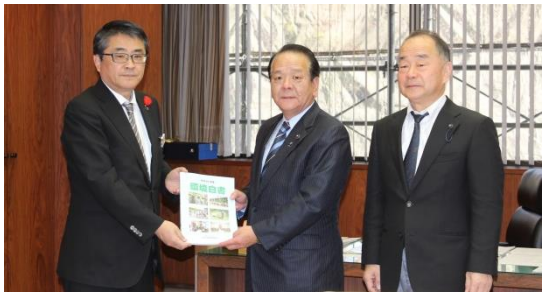
**特集2**　食品廃棄物の不適正処理に係る再発防止対策について

**特集3**　持続可能な未来のあいちの担い手育成
「人づくり」～あいちの未来クリエイト部～

**＜環境白書をご覧になりたい方は＞**

環境部Webページ「あいちの環境」に全文を掲載しています。(http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/0000057223.html)

また、県民相談・情報センター（愛知県自治センター2階　情報コーナー）では、1部920円で販売しています。



**中野治美（なかのはるみ）県議会議長（中）及び峰野 修（みねのおさむ）県議会副議長（右）へ大林（おおばやし）環境部次長から報告（12月15日（金））**

環境政策課　企画・広報グループ
電話 052-954-3210（ダイヤルイン）

## ２月は放置自動車ゼロ推進月間です！

愛知県では、2月を**「放置自動車ゼロ推進月間」**と定め、県内全域で路上や公園等に放置されている自動車の一掃に努めています。

放置自動車の発見台数は、自動車リサイクル法が施行された平成14年度の6,339台をピークに28年度には379台と大きく減少していますが、都市部を中心に道路、公園、河川敷等に未だに多くの自動車が放置されており、道路交通上の障害や環境保全上の問題が生じています。

このため、期間中、放置自動車の早期発見に向けたパトロールの強化、長期間放置されている自動車の撤去や一時保管場所への移動を行うとともに、広く県民や事業者の皆さんに啓発を行います。

放置自動車をなくすため、次の事項に是非ご協力ください。

・放置自動車を見つけた場合は、発見場所の市町村役場又は県環境部資源循環推進課に連絡をお願いします。

・不要となった自動車は、自動車販売店など適切に処理できる事業者に引き渡してください。

**放置された自動車**

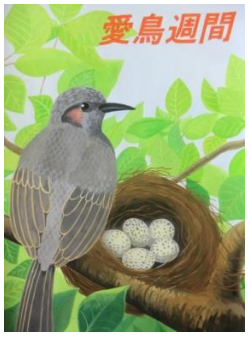
資源循環推進課　一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）

## 「平成30年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」で愛知県選考作品が環境大臣賞等を受賞しました！

（公財）日本鳥類保護連盟主催の「平成30年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」において、全国59,802点の中から、愛知県から推薦した刈谷市立朝日小学校5年の上野世誠（うえのせな）さんの作品が環境大臣賞を、名古屋市立冨士中学校3年の市川未紗（いちかわみさ）さんの作品が（公財）日本鳥類保護連盟会長賞を受賞しました。

＜受賞作品＞

環境大臣賞




上野 世誠さんの作品

（公財）日本鳥類保護連盟会長賞

市川 未紗さんの作品

12月20日に、愛知県公館において表彰伝達式が行われ、2名の受賞者に、知事から賞状と楯が渡されました。

表彰伝達式

なお、県内の優秀作品82点を愛知県弥富野鳥園で2回に分けて展示します。

**・愛知県弥富野鳥園展示期間（月曜閉園）**

① 1月14日（日）～ 1月28日（日）

② 2月 3日（土）～ 2月18日（日）

また、優秀作品のうち、県が推薦した作品30点については、平成30年の愛鳥週間（5月10日（木）～5月16日（水））の期間、県庁地下通路にも展示します。是非ご覧ください。

（自然環境課　生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475（ダイヤルイン））

## 「生物多様性アクション大賞2017」で愛知県内の企業が環境大臣賞を受賞しました！

12月8日に東京ビッグサイトで開催された「生物多様性アクション大賞」(*)において、海部郡蟹江町の(株)加藤建設が行っている「エコミーティング～建設業における環境活動～」が、環境大臣賞を受賞しました。

加藤建設は、「建設業が持つ技術は、自然を守り、回復させることができる」との思いから、自然環境に配慮した建設工事を施工できるようビオトープ管理士資格の取得を全社的に推進し、社長自らも率先して取得した結果、今では社員の半数近い128名が資格を取得しています。そして、建設工事現場においては、自然環境を豊かにするための検討・提案・実施を行っており、この度の受賞では、これらの活動が高く評価されました。

また加藤建設は、過去に愛知環境賞も受賞しており、尾張西部生態系ネットワーク協議会の幹事としても環境活動に積極的に取り組んでいます。これらの活動を通じて、生物多様性保全の取組が、建設業界始め多くの方々に広く浸透していくことを期待します。

取組発表の様子

受賞を喜ぶ㈱加藤建設の皆さん

＊「生物多様性アクション大賞」は、国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J：環境省事務局）が、COP10（生物多様性条約第10回締約国会議：2010年）で採択された「愛知目標」の達成に向け、生物多様性の「MY 行動宣言５つのアクションプラン（たべよう・ふれよう・つたえよう・まもろう・えらぼう）」に即した活動を表彰するものです。

（自然環境課　国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229（ダイヤルイン））

# 連載　サスティナ研ニュース ⑭
## ～成果発表会２０１７を開催しました～

大学生を対象とした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」では、12 月 3 日(日)に愛知淑徳大学で「成果発表会 2017 ～考えよう！未来の環境～」を愛知学長懇話会と共催して開催しました。

研究員は、6 月の開所式以降、半年間をかけて、パートナー企業・団体から提示された環境課題に対し、現場調査や企業・団体とのディスカッション等を行いながら、解決策を熱心に研究してきました。

この成果発表会は、各チームがまとめた研究成果をパートナー企業･団体や来場者の皆さんに発表し、評価を受けるとともに、今年度の研究所活動の締めくくりとして、修了式を行うものです。

**1　研究成果発表**

各チームは、9 分間という短い時間の中で、審査員席のパートナー企業・団体始め、約 330 人の来場者へ、発表方法や衣装など工夫を凝らし、わかりやすい発表を行いました。

発表の様子

各チームの発表後には、パートナー企業・団体の評価があり、「正に望んでいた解決策である」「実現に向けて検討していきたい」「若者らしい大学生ならではのアイデアである」などのコメントをいただきました。

**2　修了式**

研究所所長の大村知事、研究所顧問の中日新聞社の飯尾歩（いいおあゆみ）さんの参加のもと､修了式を実施しました。

研究員を代表して、チーム・しんにってつすみきんの加藤祐香（かとうゆうか）さんが大村知事から修了証を受け取り、「持続可能な社会の担い手として、私たちにできることをひとつひとつ実行していきたい。」と環境リーダーとして今後活躍する意気込みを述べました。

研究員代表あいさつ

また、大村知事からは、「この経験を今後の環境活動で生かしていただき、持続可能な未来のあいちの担い手として活躍して欲しい」とのコメントがありました。

さらに、来場者からの投票結果の発表があり、最優秀賞としてチーム・セントレアが選ばれました。中部国際空港の屋内の緑化企画として、緑や愛知県の特産品である花の活用、地元の小学生の活動と連携した取組、SNS の活用による国内外への取組の発信など、コストや継続性、インパクトだけでなく、地域と密着して取り組んでいくことを解決策として発表しました。

最優秀賞　チーム・セントレア

**3　講演会**

修了式の後には、落語家で環境省から容器包装廃棄物排出抑制推進員「3R 推進マイスター」を委嘱されている桂文喬（かつらぶんきょう）さんの講演や落語があり、軽やかな語り口で、行政・企業・個人が一体となって環境問題に取り組むことの大切さを伝えていただきました。

**4　成果の発信**

これまでの研究成果を広く発信していくため、12 月 23 日(土)に名古屋市立大学で開催された「第 2 回愛知学長懇話会サステナビリティ・リレーシンポジウム」に参加し、チーム・セントレアとチーム・しんにってつすみきんが本研究所の代表として発表を行いました。

環境政策課　企画・広報グループ
電話 052-954-6210（ダイヤルイン）

## 「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します
### ～あなたにも！地球にも！未来にも！やさしいお買い物～

買い物をするときに、本当に必要かどうかを十分に考えた上で、価格や品質、利便性、デザインだけでなく環境負荷ができるだけ少ない商品を購入することを「グリーン購入」といいます。

愛知県では、グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県、三重県、名古屋市及び団体・事業者と協働し、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中に、右に示したような環境ラベルが付いた商品や地元でとれた旬の野菜、詰め替え商品等の地球に優しい商品を購入し、アンケートに答えてご応募いただくと、抽選で255名様にQUOカード1万円分やエコ商品が当たります。

©グリーン購入ネットワーク

**【キャンペーン期間】**

1月12日（金）～2月11日（日）

**【応募方法】**

「懸賞応募はがき」または「ネット応募フォーム」からアンケートに答えてご応募ください。

（https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=10569）

**【環境ラベルの一例】**

詳細はWebページをご覧ください。

（http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/2017greenkounyuucampaign.html）

環境活動推進課　調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）

## 「平成29年度第3回アスベスト対策に関する講習会」を開催します

アスベスト（石綿）は過去に建築物等の材料として多く使用されており、建築物等の解体等工事において、大気中への飛散を防ぎ、健康被害を引き起こさないためには、大気汚染防止法等に基づき、適切に解体等工事を実施することが重要です。

このため、アスベストの飛散防止対策等について学んでいただける講習会を、全3回シリーズで開催しており、このたび、第3回の講習会を開催します。

1　**日時**　1月15日（月）13:30～16:00

2　**場所**　伏見ライフプラザ　5階　鯱城ホール（名古屋市中区栄1-23-13）

3　**主催**　愛知県アスベスト対策協議会、愛知県、名古屋市

4　**定員・参加費**　300名（事前申込先着順）・無料

5　**内容**　「災害時におけるアスベスト飛散防止対策について」

講師：建設廃棄物協同組合
理事長　島田（しまだ）　啓三（けいぞう）氏

※このほか、愛知県職員による大気汚染防止法等についての説明があります。

6　**申込方法**

所属、氏名、参加人数、電話番号、Eメールアドレスを記載の上、FAX（052-953-5716）又はEメール（taiki@pref.aichi.lg.jp）により、1月10日（水）までに環境部大気環境課宛てお申し込みください。

詳細はWebページをご覧ください。

（http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/2903asbestokosyukai.html）

大気環境課　規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）

## 「平成29年度VOC・水銀排出抑制セミナー」を開催します

光化学オキシダントなどの原因物質である揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制を促進するため、関係事業者等の皆様を対象にセミナーを開催します。セミナーでは、VOC 排出抑制対策の最新動向や取組事例について紹介するとともに、大気汚染防止法の改正を踏まえ、水銀排出抑制に向けた情報を提供します。

**1　日時**　1月22日(月)　13:30～16:00

**2　場所**　伏見ライフプラザ　5階　鯱城ホール
(名古屋市中区栄1-23-13)

**3　主催**　中部経済産業局、愛知県、名古屋市、愛知県中小企業団体中央会

**4　定員・参加費**　300名(事前申込先着順)・無料

**5　内容**

【 講演 】

①「愛知県のVOC排出抑制の取組等」
(愛知県環境部大気環境課)

②「VOC排出削減対策最新動向」
(経済産業省産業技術環境局環境指導室)

③「水俣条約を踏まえた今後の水銀大気排出対策」
国立大学法人岐阜大学大学院工学研究科
環境エネルギーシステム専攻
工学博士シニア教授 守富(もりとみ) 寛(ひろし) 氏

【 VOC排出削減対策事例の紹介 】

① 全国石油商業組合連合会　常務理事 坂井(さかい) 信(まこと) 氏

② (株)マルワ　代表取締役社長 鳥原(とりはら) 久資(ひさし) 氏

**6　申込方法**

次のWebページから申込書をダウンロードし、1月15日(月)までにお申し込みください。
(http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/h29vochgseminar.html)

大気環境課　規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）

## 「水銀排出規制に関する改正大気汚染防止法説明会」を開催します

平成25年10月に、水銀及び水銀化合物の人為的な排出から人の健康及び環境を保護することを目的とした「水銀に関する水俣条約」が採択されました。我が国では、平成28年2月に同条約を締結するとともに、大気汚染防止法を改正し、水銀排出施設の届出や排出基準の遵守などの水銀大気排出規制が平成30年4月1日から開始されます。

この水銀大気排出規制に向けて、関係事業者等の皆様を対象に説明会を開催します。

**1　日時**　2月9日（金）14:30～17:00

**2　場所**　伏見ライフプラザ　5階　鯱城ホール
(名古屋市中区栄1-23-13)

**3　主催**　愛知県、名古屋市

**4　定員・参加費**　300名(事前申込先着順)・無料

**5　内容**　「水銀大気排出規制に係る改正大気汚染防止法の円滑な施行に向けて」(仮題)

講師：環境省水・大気環境局大気環境課
課長補佐　田村(たむら)　友宣(ともの)氏

※このほか、愛知県職員による水銀排出施設の届出等についての説明があります。

**6　申込方法**

所属、氏名、参加人数、電話番号、Eメールアドレスを記載の上、FAX（052-953-5716）又はEメール(taiki@pref.aichi.lg.jp)により、2月2日(金)までに環境部大気環境課宛てお申し込みください。

詳細はWebページをご覧ください。
(http://www.pref.aichi.jp/soshiki/taiki/29suiginsetsumeikai.html)

大気環境課　規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）

# 海ごみ減らそうフォーラム・海ごみ減らそうプロジェクト を開催しました

## 1　海ごみ減らそうフォーラム

海ごみは内陸部も含めた愛知県内全域の問題であることから、ＮＰＯ、企業、行政等多様な主体が連携・協力しながら海ごみ問題に取り組む契機とするため、「海ごみ減らそうフォーラム」を開催しました。

**(1) 日時**　11 月 25 日（土）　9:30～16:00

**(2) 場所**　岡崎市役所福祉会館　6 階ホール

**(3) 参加者**　80 名（行政、企業、ＮＰＯ等）

**(4) 内容**

フィールドワーク

午前の部は、猿渡川（知立市内）と家下川（豊田市内）の現地視察を行いました。住宅地の猿渡川周辺では、多くのレジ袋やペットボトルが散見されました。また、家下川周辺は緑が多い場所でしたが、同様に生活ごみが散見され、こうした内陸部のごみが海ごみの要因となっていることを確認することができました。

グループ討議の様子

午後の部は、国土交通省、ＮＰＯ、開催市の岡崎市等から、海ごみに関する取組発表が行われ、その後、海と川へのごみの流入を減らすための活動や施策をテーマとしたグループ討議が行われました。各グループからの発表では、「ごみ拾いに対するポイントの発行」や「使い捨てプラスチック削減の国民運動の実施」など様々な意見が出されました。

最後に、愛知県海岸漂着物対策推進協議会の青木伸一座長から、海ごみ問題の解決には、意識の啓発、暮らし方の改革及び技術開発が重要であり、今後とも各主体が、海ごみを大きな問題と捉え取組をさらに進めていただきたいとの総評をいただきました。

## 2　海ごみ減らそうプロジェクト

県民の皆さんに海ごみ問題を広く知ってもらい、考えていただくため、県民参加型イベントとして「海ごみ減らそうプロジェクト」を開催しました。

**(1) 日時**　11 月 26 日（日）　10:00～16:00

**(2) 場所**　イオンモール岡崎

**(3) 参加者**　約 8,000 名

**(4) 内容**

ステージでは、テレビ番組「フックブックローミニ」でおなじみの谷本賢一郎さんや名古屋出身のボーイズユニット「#ハッシュタグ」のライブショー、海ごみにまつわるクイズ大会などを行い、イベントを盛り上げました。また、大村知事からは、街のごみが川を経由して海ごみの原因となっていることから、県内全域での海ごみ削減に向けた取組の推進を呼びかけました。

クイズ大会の様子

愛知県知事あいさつ

ブースでは、海の生き物をかたどった立体お面づくり、海の生き物や海ごみなどが描かれたカードを使った絵合わせゲーム、海ごみに関する各種の展示などを通じて、来場者の皆さんに楽しみながら海ごみについての理解を深めていただきました。

立体お面づくりの様子

カードゲームの様子

資源循環推進課　一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）

連載

# 「あいちの未来クリエイト部」の活動を紹介します(3)

## ～愛知県立安城南高等学校　自然科学部～

高校生が、環境問題について調査・研究を行って環境学習プログラムを作成する**「あいちの未来クリエイト部」**の活動が 7 月から 10 月にかけて行われました。

今回は、**「愛知県立安城南高等学校　自然科学部」**の皆さんから紹介していただきます。

**【活動データ】**

**テーマ**
学校周辺河川の水質改善

**グループ名**
愛知県立安城南高等学校　自然科学部

**アドバイザー**
豊田市矢作川研究所　研究員　白金（しらがね） 晶子（あきこ）　さん

**ファシリテーター**
NPO 法人アスクネット　代表理事　白上（しらかみ） 昌子（まさこ） さん

安城市内には多くの川が流れており、私たちは学校周辺を流れる鹿乗川（かのりがわ）や矢作川（やはぎがわ）などで、簡易な方法による水質調査や魚の生息調査を行ってきました。今回、「水生生物による水質の調査方法を新たに学びたい」、「より豊かな生態系を学校周辺に育むために、地域の人たちに川のことをもっと知ってもらいたい」との思いを持ってこの活動に参加しました。

**＜調査・研究＞**

アドバイザーから水生生物の捕獲方法や同定のポイント等を教わり、鹿乗川で調査を実施しました。その結果、あまりきれいではないと思っていた川でも 15 種類もの生きものを確認でき、その中には、環境省がややきれいな水（水質階級Ⅱ）の指標生物に定めているコガタシマトビケラ類も多くいました。

予想よりも多い種類・数の生物が捕獲でき、身近な川にもたくさんの生きものがいることを実感し、川への興味がより深くなりました。

**＜プログラム作成＞**

川に興味を持ったり、川の調査を実施したりする行動を起こすきっかけになるプログラムを作りたいと思い、クイズ形式で安城市内の川に生息する生きものを学べる教材**「クイズで知ろう！あんじょうしないの川のいきもの！」**と、川の調査方法や実際の調査で気付いた注意点などをまとめた**「川での採集・調査の仕方」**等を作成しました。

また、10 月 29 日開催の「ユネスコスクール交流会」や 11 月 19 日開催の「Let's エコアクション in AICHI」にワークショップを出展し、多くの来場者の皆さんにプログラムを披露しました。

今回作成したプログラムにより、川を守るために行動してくれる人が増えることを願っています。

調査の様子

Let's エコアクション in AICHI

（環境活動推進課　環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン））

ことで、地域の多くの人々が身近な川の環境を守る

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成 30 年 1 月 4 日発行（第 260 号）
編集・発行　愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032　名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-910-5489（ダイヤルイン）

**編集後記**

新年明けましておめでとうございます。

寒さが一層厳しくなり、家から出るのが億劫になってしまいますが、そんな寒い季節だからこそより楽しめるのが温泉です。愛知県内には、およそ 160 の温泉施設があり、温泉に入りながら眺めることのできる景色は、山並みやオーシャンビューなど様々です。休日に心と身体を温めに、県内の温泉に出かけてみてはいかがでしょう。（企画・編集チーム）

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」http://www.pref.aichi.jp/kankyo/でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。